

美術工芸学科 総合造形コース カリキュラムツリー

カテゴリー(大分類)	専門課程			創造学習課程			学科独自の課外活動
	インテリジェンス	テクニカルスキル	クリエイション・プレゼンテーション	キャリア	基礎教養科目群	キャリア創出科目群	
カテゴリー(小分類)	事象を感じ捉える	技術から智慧に至る	構想を具現化する	世界を理解する	芸術教養／表現基礎／学習基礎	キャリア／プロジェクト／語学／資格	
4年			(構想を具現化する) 卒業研究・制作 卒業制作 4				外部評価研究 アートセンター研究
			(構想を具現化する) 創造表現XⅡD 卒業制作への制作準備 2				
			(構想を具現化する) 創造表現XⅠD セミ展 2				
			(構想を具現化する) 創造表現XD セミ展の試作 2				
			(構想を具現化する) 創造表現XD セミ展にむけてプランニング 2				
3年		(技術から智慧に至る) 創造表現ⅦD マロニエ展にむけて 2					アートセンター研究
		(技術から智慧に至る) 創造表現ⅦD 表現研究の実習 2					
	(事象を感じ捉える) 表現研究Ⅳ 染色科学論 2	(技術から智慧に至る) 創造表現ⅦD 制作研究ノート 2					
	(事象を感じ捉える) 表現研究Ⅲ 表現研究Ⅲ 芸術と写真 2			(世界を理解する) 創造表現ⅦD 学外演習・社会体験 2			
	(事象を感じ捉える) 表現研究ⅡB 平面材料学 2	(技術から智慧に至る) 創造表現ⅢD コース展への制作研究Ⅱ 2		(世界を理解する) 工芸各論 専任オムニバス講義 2			
	(事象を感じ捉える) 表現研究ⅡA 平面材料学 2	(技術から智慧に至る) 創造表現ⅡD コース展への制作研究Ⅰ 2		(世界を理解する) 美術各論 専任オムニバス講義 2			
2年	(事象を感じ捉える) 表現研究Ⅰ 立体材料学 2	(技術から智慧に至る) 創造表現ⅠD 3D造形 2		ソーシャル・アート演習Ⅰ (社会実装科目) 社会の様々な場所で、美術工芸学科の専門性を行かした実践活動をすすめる。 2	(表現基礎) ビジネスソフト基礎 2		白熱講義 学科プロジェクト オープンスタジオ ウルトラプロジェクト
				(世界を理解する) 創造表現ⅣD 作家研究・素材研究 2	(芸術教養基礎) 色彩論 2		
		(技術から智慧に至る) 創造演習ⅦD 進級制作(ミクストメディア) 2		(世界を理解する) コンピュータ演習A(教職学生向け) Adobeソフトの基本操作 2			
		(技術から智慧に至る) 創造演習ⅦD 技法研究Ⅱ(インスタレーション) 2		(世界を理解する) コンピュータ演習B(教職学生向け) Adobeソフトの基本操作 2			
	(事象を感じ捉える) 図学 図としての空間表現 2	(技術から智慧に至る) 創造演習ⅦD 技法研究Ⅰ(フギア制作) 2					
	(事象を感じ捉える) 美術工芸史Ⅳ 彫刻史 2			(世界を理解する) 創造演習ⅥD プロダクト製品制作実習 2			
	(事象を感じ捉える) 美術工芸史Ⅲ 工芸史 2	(技術から智慧に至る) 創造演習ⅢD グループ制作 2					
	(事象を感じ捉える) 美術工芸史Ⅱ 絵画史 2	(技術から智慧に至る) 創造演習ⅡD 技法シリーズ(選択制) 2		(世界を理解する) 創造演習ⅣD 技法実習・ポートフォリオ 2			
	(事象を感じ捉える) 美術工芸史Ⅰ 現代美術史 2	(技術から智慧に至る) 創造演習ⅠD 塗装を学ぶ 2					
				(世界を理解する) 創造基礎ⅣD 人物クロッキー・デッサン 2	(表現基礎) 表現ソフト基礎 2		
1年	(事象を感じ捉える) 美術概論Ⅱ 美術概論 2						総合基礎科目群
	(事象を感じ捉える) 美術概論Ⅰ 美術概論 2	(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅦD 素材と技法(FRP) 2				語学科目群 2	
	(事象を感じ捉える) 工芸概論Ⅱ 工芸概論 2	(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅦD 素材と技法(金属) 2					
	(事象を感じ捉える) 工芸概論Ⅰ 工芸概論 2	(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅦD 素材と技法(木) 2					
		(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅢD 素材と技法(首像) 2					
		(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅡD ファウンデーション 2			(総合基礎) グループワークショップ 6		
	(技術から智慧に至る) 創造基礎ⅠD 素材と技法(土) 2			(総合基礎) コミュニケーションペーパーク 6			

客観的な学びが不完全なことから起こる自己中心性を排し、社会や世界を見据えた、時代に訴求する表現力を身につける。より深く学ぶ意欲を持つ者は、大学院進学をめざす。

習得した基幹技術を展開するため、歴史、理論、作家研究を徹底して行う。また流動化する社会や世界に適応する表現者となるため、プレゼンテーションとコミュニケーションの力をインターンシップや展覧会企画を通して学ぶ。

多角的にテーマを変えつつ、基幹技術を完全に身体化するよう徒弟制度的訓練と科学的プログラムを引き続き用意し、後期から学科キャリア授業として国語力の強化と、学科独自の教養教育を実施する。

絵がかけない、作れない学生が半数を超えることを前提とし、基礎教育に徒弟制度的厳しさを導入する。基幹技術を科学的アプローチと量のトレーニングによって、会得する。

